

資料集

資料一 1 調査団氏名・所属

資料一1 調査団氏名・所属

現地調査(期間:平成11年7月8日—平成11年8月12日)における調査団員の構成は以下の通りである。

<u>担当</u>	<u>氏名</u>	<u>所属</u>
総括	下田 透	国際協力事業団無償資金協力部業務第4課
技術参与	小笠原 昇市	水産庁漁政部国際課海外漁業協力室
業務主任/海洋土木	西村 良一	日本工営株式会社
水産物流通計画	山本 幸生	システム科学コンサルタンツ株式会社
土木施設計画	鹿島 孝和	日本工営株式会社
水産施設設備計画	近藤 侑三	システム科学コンサルタンツ株式会社
自然条件調査	高風 博行	日本工営株式会社
施工計画/積算	内藤 勝美	日本工営株式会社

ドラフトレポート説明(期間:平成11年10月14日—平成11年10月24日)における調査団員の構成は以下の通りである。

<u>担当</u>	<u>氏名</u>	<u>所属</u>
総括	取香 諭司	水産庁漁政部国際課海外漁業協力室課長補佐
業務主任/海洋土木	西村 良一	日本工営株式会社
水産物流通計画	山本 幸生	システム科学コンサルタンツ株式会社
土木施設計画	鹿島 孝和	日本工営株式会社

資料一2 調査日程

資料—2 調査日程

現地調査

日順	日付	曜日	団員移動内容	宿泊先	調査内容
1	7月8日	木	下田団長、小笠原技術参与(官 団員)及び西村、山本、近藤、 鹿島(コンサル側団員)成田 発、ロンドン着/発	機中泊	
2	7月9日	金		ダレス・サラム	天然資源観光省、大蔵省、DCC 及び JICA タンザニア事務所表敬
3	7月10日	土		ダレス・サラム	サイト周辺地域踏査
4	7月11日	日		ダレス・サラム	サイト周辺地域踏査
5	7月12日	月		ダレス・サラム	タンザニア港湾庁、土地開発省、タンザ ニア日本大使館表敬、IC/R の説明・協 議
6	7月13日	火		ダレス・サラム	大統領府打合せ、現地調査
7	7月14日	水		ダレス・サラム	天然資源観光省水産局打合せ、大統領府 代表との現地打合せ、利用者代表よりの ヒアリング、現地調査
8	7月15日	木		ダレス・サラム	土地開発省打合せ、港湾庁打合せ、天然 資源観光省水産局打合せ、現地調査
9	7月16日	金	下田団長、小笠原技術参与(官 団員)ダレスサラム発	ダレス・サラム	ミニッツ署名、日本大使館・JICA 現地 調査結果中間報告、国内打合せ
10	7月17日	土		ダレス・サラム	市内市場調査、現地調査
11	7月18日	日	内藤団員ダレスサラム着	ダレス・サラム	積算関係調査打合せ、現地調査
12	7月19日	月		ダレス・サラム	積算資料収集、港湾庁打合せ、フェリー 建設関係者打合せ、現地調査
13	7月20日	火		ダレス・サラム	環境協議会打合せ、現地調査
14	7月21日	水		ダレス・サラム	市内市場調査、現地調査
15	7月22日	木		ダレス・サラム	積算資料収集、現地調査
16	7月23日	金	鹿島団員ダレスサラム発	ダレス・サラム	積算資料収集、現地調査
17	7月24日	土		ダレス・サラム	施工機械調査、利用者意向アンケート調査、 現地調査
18	7月25日	日		ダレス・サラム	現地調査
19	7月26日	月	近藤団員ダレスサラム発	ダレス・サラム	天然資源観光省打合せ、現地調査
20	7月27日	火	高風団員ダレスサラム着	ダレス・サラム	土質調査関連資料収集、現地調査
21	7月28日	水		ダレス・サラム	公共事業省フェリー担当局長打合せ、現 地調査
22	7月29日	木		ダレス・サラム	土取場調査、積算資料収集、現地調査
23	7月30日	金		ダレス・サラム	土取場調査、水産関係資機材工場調査、 日本大使館・JICA 現地調査中間報告
24	7月31日	土		ダレス・サラム	現地調査
25	8月1日	日	内藤団員ダレスサラム発	ダレス・サラム	現地調査、国内打合せ
26	8月2日	月	西村・山本団員ダレスサラ ム発	ダレス・サラム	関係者打合せ・協議、現地調査
27	8月3日	火		ダレス・サラム	現地調査
28	8月4日	水		ダレス・サラム	現地調査
29	8月5日	木		ダレス・サラム	現地調査
30	8月6日	金		ダレス・サラム	現地調査
31	8月7日	土		ダレス・サラム	現地調査
32	8月8日	日		ダレス・サラム	現地調査
33	8月9日	月		ダレス・サラム	JICA 現地調査中間報告、現地調査
34	8月10日	火	高風団員ダレスサラム発	機中泊	DCC 打合せ
35	8月11日	水	ロンドン着/発	機中泊	移動
36	8月12日	木	成田着		移動

ドラフトレポート説明時

日順	日付	曜日	団員移動内容	宿泊先	調査内容
1	10月14日	木	取香団長（官団員）及び西村、山本、鹿島（コンサル側団員）成田発、ロンドン着／発	機中泊	
2	10月15日	金		ダールイス・サラム	天然資源観光省、大蔵省、DCC 及び JICA タンザニア事務所表敬
3	10月16日	土		ダールイス・サラム	サイト周辺地域踏査
4	10月17日	日		ダールイス・サラム	サイト周辺地域踏査
5	10月18日	月		ダールイス・サラム	タンザニア港湾庁、土地開発省、タンザニア日本大使館表敬、DF/R の説明・協議
6	10月19日	火		ダールイス・サラム	大統領府打合せ、現地調査
7	10月20日	水		ダールイス・サラム	天然資源観光省水産局打合せ、大統領府代表との現地打合せ、利用者代表よりのヒアリング、現地調査
8	10月21日	木		ダールイス・サラム	土地開発省打合せ、港湾庁打合せ、天然資源観光省水産局打合せ、現地調査
9	10月22日	金	取香団長（官団員）及び西村、山本、鹿島（コンサル側団員）ダールイス・サラム発	機中	ミニッツ署名、日本大使館・JICA 現地調査結果中間報告、団内打合せ
10	10月23日	土	全団員ロンドン着／発	機中	
11	10月24日	日	全団員成田着		

資料—3 相手国関係者リスト

資料—3 相手国関係者リスト

大統領府

Mr. Matern Y. C. Lumbanga
Mr. Joseph N. Isaka

Chief Secretary
Coordinator, Office of the Chief Secretary

大蔵省

Mr. Prosper J. Mbena
Mr. Bitungwa

Commissioner for External Finance
Japan Desk Officer

天然資源観光省

Mr. Philemon L. Luhanjo
Mr. Thomas Maembe
Mr. Geofry F. Nanyaro
Mr. S.P.N. Kimaro
Mr. Mapunda
Mr. Moreni
Mr. Jihulya

Permanent Secretary
Director, Fisheries Department
Deputy Director, Fisheries Department
Deputy Director, Fisheries Department
Deputy Director, Fisheries Department
Fisheries Officer/Counterpart
Fisheries Officer/Counterpart

ダルエスサラーム市役所

Mr. Chales N. Keenja
Mr. Alfred Fuko
Mr. John M. Lubuva
Mr. Salim Chima
Mr. Raphael S. Ndunguru
Mr. Chacha S. Mwita
Ms. Suwai
Mr. Mkama
Mr. Muya
Mr. Bonifae Mellys
Mr. Ntima
Mr. Juma Msangi
Mr. J.S. Kiwale

Chairman
Commissioner Secretary
Deputy Commissioner Secretary
Deputy Commissioner Secretary
Commissioner for Urban Planning
Commissioner for Works
Commissioner for Trade and Economic
Commissioner for Administration
Health Department
Economist, Trade and Economic Department
Fish Market Officer/ Project Counterpart
Banda Beach Fish Market (officer-in-charge)
Former Officer, City Natural Resource

土地開発省

Mr. Mughweno
Ms. Mary H. C. Stella Longway

Director, Planning Division
Commissioner of Land

公共事業省

Mr. J. S. Ndunguru

Director, Electrical & Mechanical Division

タンザニア港湾庁

Mr. Ramadhan N. Mwamandongo
Mr. Meteru

Chief Design Engineer
Senior Design Engineer

ベガニ水産センター

Mr. K. Matwanje Principal

タンザニア水産研究所

Prof. Philip O. J. Bwathondi Director General

環境管理協議会

Mr. Magnus Ngoile Director General
Ms. Lydia A. Mbwele Principal Pollution Control Officer

在タンザニア日本大使館

佐藤 啓太郎氏 特命全権大使
太田 裕造氏 公使
河野 雅之氏 一等書記官
吉岡 賢治氏 一等書記官

JICA タンザニア事務所

中井 信也氏 所長
二見 伸一郎氏 所員

家計向上プログラム

Mr. K.W. Salewi Civil Engineer

魚市場利用者代表

Mr. Abdulkadiri Mshamu Hemedi VUSHA
Mr. Dismus Mauye Fish processor (dried fish)
Mr. Hafai Mohamedi Fire wood dealer
Mr. Ismail Omari Liwanga DSM Dealers of Sea shells
Mr. Juma Japan Ngonye Vegetable dealer
Ms. M. Mohamedi (Mama Didi) Ass/chairman, MUUNGANO (Mama Ntihe)
Mr. Mustafa Salumu Fruit and Vegetable dealer
Mr. Nassoro Ismail Nassoro WASWI
Mr. Nassoro Omari Mbagu WASWI
Mr. Rajhidi Mohamedi Cumbe Chairman, VUSHA
Mr. Salmu Bakari VUSHA
Mr. Selemani Saidi Kissande WASWI

その他

Mr. James Yonazi National Programme Officer, FAO
Mr. B. V. Luhui General Manager, Kariakoo Market Corporation

資料一4 相手国の社会・経済事情

資料一 4 相手国の社会・経済事情

国名	タンザニア連合共和国
	United Republic of Tanzania

一般指標				
政体	共和制	*1	首都	ダニエスサラーム
元首	President Ali Hassan MWINYI	*1	主要都市名	ザンザール、タガ、ムンバ
独立年月日	1964年4月26日	*1	経済活動可人口	15,000千人 (1995年)
人種(部族)構成	アフリカ系 99%		義務教育年数	7年間 (1997年)
			初等教育就学率	50.0% (1994年)
言語・公用語	スワヒリ語、英語	*1	初等教育終了率	% (年)
宗教	キリスト教 45%、回教 35%、地域信仰	*1	識字率	67.8% (1995年)
国連加盟		*2	人口密度	32.80人/Km ² (1996年)
世銀加盟	1962年09月	*3	人口増加率	1.2% (1996年)
IMF加盟	1996年06月	*3	平均寿命	平均 42.34 男 40.95 女 43.78
面積	945.09千Km ²	*1	5歳児未満死亡率	144/1,000 (1996年)
人口	29,058.470千人 (1996年)	*1	カロリー供給量	2,003.0 cal/日/人 (1995年)

経済指標				
通貨単価	タンザニア・シリング	*1	貿易量	(1997年)
為替 (1US\$)	1US\$=665.49 (1998年6月)	*8	輸入	1,337.0百万ドル
会計年度	7月~6月	*1	輸出	71.9百万ドル
国家予算	(1997年)	*9	輸入カバー率	2.3月 (1996年)
歳入	934.5百万ドル	*9	主要輸出品目	コヒー、綿、カゴ、茶、カニナツ (1994年)
歳出	1,075.8百万ドル	*9	主要輸入品目	工業製品、機械、輸送機器 (1994年)
国際収支	-146.80百万ドル (1997年)	*9	日本への輸出	58.7百万ドル (1997年)
ODA受取額	894.00百万ドル (1996年)	*7	日本からの輸入	78.5百万ドル (1997年)
国内総生産(GDP)	3,602.00百万ドル (1995年)	*4		
一人当たり GNP	120.0ドル (1995年)	*4	外貨準備総額	567.8百万ドル (1998年5月)
GDP産業別構成	農業 58.0% (1995年)	*4	対外債務残高	258.0百万ドル (1996年)
	鉱工業 17.0% (1995年)		対外債務返済率	18.7% (1996年)
	サービス業 24.0% (1995年)		インフレ率	34.0% (1995年)
産業別雇用	農業 84.0% (1990年)	*7		
	鉱工業 5.0% (1990年)			
	サービス業 11.0% (1990年)		国家開発計画	
経済成長率	3.2% (1995年)	*4		

気象 (1961~1990年平均)		場所: Dar es Salaam											(標高 14 m)
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
最高気温	31.0	31.0	31.0	30.0	29.0	29.0	28.0	28.0	28.0	29.0	30.0	31.0	29.6°C
最低気温	25.0	25.0	24.0	23.0	22.0	20.0	19.0	19.0	19.0	21.0	22.0	24.0	21.9°C
平均気温	27.4	27.7	27.4	26.5	25.5	24.1	23.6	23.7	24.2	25.2	26.3	27.4	25.8°C
降水量	66	66	130	290	188	33	31	25	31	41	74	91	1,066 mm
雨期乾期													

*1 CIA World Fact Book 1997-1998
 *2 Member States of United Nations
 *3 The World Bank Public Information Center, International Financial Statistics Yearbook 1998
 *4 World Development Report 1997
 *5 UNESCO Statistical Yearbook 1997
 *6 Status and Trends 1997
 *7 Human Development Report 1998

*8 International Financial Statistics August 1998
 *9 International Financial Statistics Yearbook 1997
 *10 Global Development Finance 1998
 *11 世界の国一覽表 1998年版
 *12 最新世界各国要覧 98年版
 *13 The Times Book World Weather Guide, Update Edition
 *14 理科年表、国立天文台 (1997)

国名	タンザニア連合共和国
	United Republic of Tanzania

*15

我が国における ODA の実績		(資金協力は約束ベース、単位：億円)			
項目	年度	1993	1994	1995	1996
技術協力		2,892.93	3,087.67	3,256.28	3,461.48
無償資金協力		2,244.22	2,456.48	2,796.65	2,606.79
有償資金協力		3,939.97	4,352.31	3,878.11	3,025.02
総額		9,077.12	9,896.46	9,931.04	9,093.29

*15

当該国に対する我が国 ODA の実績					
項目	年度	1993	1994	1995	1996
技術協力		25.33	27.06	35.65	29.20
無償資金協力		74.27	79.61	90.21	80.29
有償資金協力		-10.77	-1.91	-1.58	-3.82
総額		88.83	104.76	124.28	105.67

*16

OECD 諸国の経済協力実績		(支出純額、単位：百万ドル)			
	贈与 (1)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)=(3)	その他政府資金 及び民間資金 (4)	経済協力総額 (3)+(4)
二国間援助 (主要供与国)	603.90	1.50	605.40		605.40
1. 日本	109.50	-3.80	105.70		105.70
2. デンマーク	91.10	0.10	91.20		91.20
3. オランダ	74.90	0.00	74.90		74.90
4. イギリス	66.00	1.30	67.30		67.30
多国間援助 (主要援助機関)	90.80	200.40	291.20		291.20
1. IDA					
2. CEC					
その他	0.10	-3.00	-2.90		-2.90
合計	694.80	198.90	893.70		893.70

*17

援助受入れ窓口機関	
技術	関係省庁 → 大蔵省
無償	
協力隊	

*15 Japan's ODA Annual Report 1997

*16 Geographical Distribution of Financial Flows to Aid Recipients 1992-1996

*17 国別協力情報 (JICA)

資料—5 収集資料リスト

資料一5 収集資料リスト

1. Economic Bulletin for the Quarter Ended 30th September, 1997 Vol. XXVII No.3
2. National Environmental Policy
3. Proposed Environmental Standards: Municipal and Industrial Wastewaters
4. Dar es Salaam Port Development Study 1994-2000 Volume 6 Environmental Assessment
5. Geotechnical Investigation for the Proposed PPF Tower
6. The Rolling Plan and Forward Budget for Tanzania for the Period 1994/5-1996/7
7. The Rolling Plan and Forward Budget for Tanzania for the Period 1996/7-1998/9
8. National Fisheries Sector Policy and Strategy Statement, December 1997
9. Fisheries Division Annual Statistics Report 1995
10. Fisheries Legislation
11. Monthly Economic Review